

# 2005年5月期決算説明資料

ミタチ産業株式会社

2005年7月11日



## 目次



1. 会社概要
2. 2005年5月期 決算概要
3. 2006年5月期 業績見通し
4. 今後の方向性
5. 中期の業績目標
6. 業績推移(実績・計画)

1. この決算説明資料の金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. この決算説明資料は、現時点で入手された情報に基づき当社が判断した予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは大きく異なることがあります。



# 1. 会社概要

3



## 会社概要



- 本社 : 愛知県名古屋市
- 創業 : 1972年9月 (1976年7月、株式会社に改組)
- 資本金 : 5億2160万円 (05年5月期)
- 代表者 : 代表取締役社長 橋 至朗
- 従業員数 : 127人 (05年5月末、単体就業人員数)
- 事業内容 : 半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造
- 売上高 : 270億円 (05年5月末、連結)
- 経常利益 : 9.4億円 (05年5月末、連結)
- 当期純利益: 5.4億円 (05年5月末、連結)

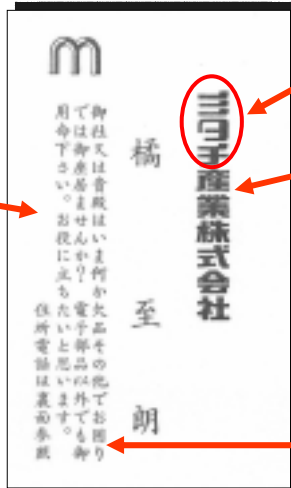
4

# 脱サラで始めた会社 創業の精神が当社のDNA



## 創業当時の名刺

御社又は貴殿はいま何か欠品その他でお困りでは御座居ませんか?  
**電子部品以外でも**ご用命ください。

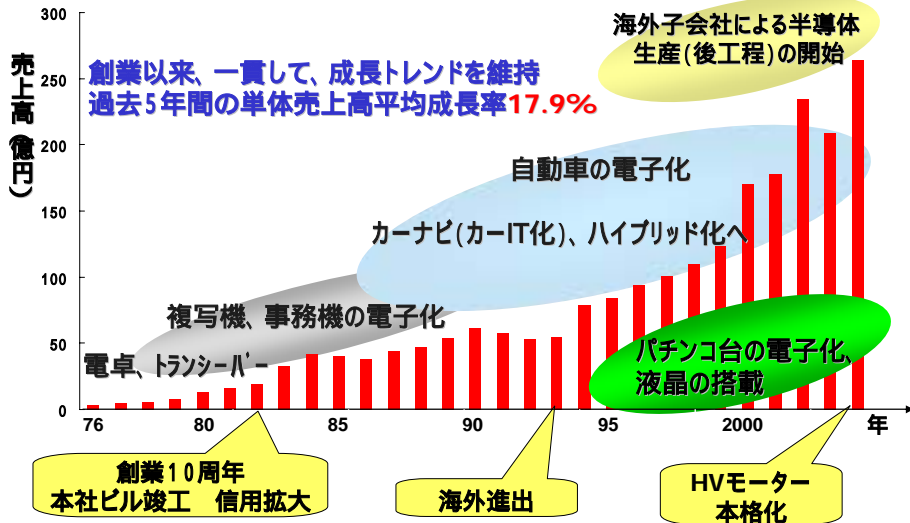


お客様と仕入先を繋ぐ橋(三位一体)

産業であるから、当社は電子部品、半導体にとられない事業展開ができる

お客様の問題解決

# 創造的革新 絶え間ない変革を遂げていく





南仏 ガールの水道橋

- 顧客第一主義
- 人間尊重
- 一流へのチャレンジ
- 創造的革新
- 企業の社会的貢献

7

## 2. 2005年5月期(第29期) 決算概要

1. 通期実績(連結・単体)
2. 部門別売上高(連結)
3. 商品別売上高(連結)
4. 業種別売上高(連結)
5. 主要顧客別売上高(連結)
6. 仕入実績(連結)

8



## 第29期決算 1. 実績(連結・単体)



創業以来の最高売上・最高収益を達成！

単位：百万円

連 結	2004年5月期	2005年5月			
		金額	前年同期比	予想	予想比
売上高	21,513	27,008	+25.5%	26,900	+0.4%
売上総利益	2,384	2,606	+ 9.3%	2,626	-0.8%
営業利益	860	843	- 2.0%	820	+2.8%
経常利益	826	946	+14.5%	929	+1.8%
当期純利益	489	549	+12.1%	547	+0.4%

単 体	2004年5月期	2005年5月期			
		金額	前年同期比	予想	予想比
売上高	20,890	26,410	+26.4%	26,000	+ 1.6%
売上総利益	2,211	2,435	+10.1%	-	-
営業利益	789	808	+ 2.5%	-	-
経常利益	834	917	+ 9.9%	860	+ 6.7%
当期純利益	466	540	+15.9%	480	+12.6%

9



## 第29期決算 1. 実績(連結)



- 売 上 高 : ■ 自動車向けビジネスは好調  
 ■ オプトデバイス生産は在庫調整の影響を受けたが、堅調に推移  
 ■ アミューズメント向けビジネスは、新規格機が立ち上がるも受注回復に至らず、前期並みで推移  
 ■ ソリューションビジネスが大きく増加
- 
- 売 上 総 利 益 : ■ プロダクトミックスの変化による粗利益率の低下を売上の増加でカバー
- 
- 営 業 利 益 : ■ 将来に向けた人材投資により人件費など販管費が増加
- 
- 経 常 利 益 : ■ 為替差損の解消  
 ■ 前期(2004年5月期)は上場関連費用が発生
- 

10



## 第29期決算 2. 部門別売上高(連結)



単位:百万円

商品	期	2004年5月期		2005年5月期	
		売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
デバイス部門		15,376	-18.9%	18,696	+21.6%
ソリューション部門		1,258	+4.1%	2,985	+137.2%
海外部門		4,129	+38.5%	4,120	-0.2%
その他		748	+9.4%	1,206	+61.1%
合計		21,513	-9.7%	27,008	+25.5%

### デバイス部門

- 自動車向けが好調に推移
- アミューズメント向けビジネスは、新規格機が立ち上がるも受注回復に至らず、前期並みで推移

### ソリューション部門

- 工作機器向け、自動車向けEMSが大きく増加

### 海外部門

- オプトデバイス生産は在庫調整の影響を受けたが、堅調に推移

### その他部門

- 電子部品実装ラインの設備投資が回復

11



## 第29期決算 3. 商品別売上高(連結)



単位:百万円

商品	期	2004年5月期		2005年5月期	
		売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
半導体		7,800	+8.7%	8,746	+12.1%
液晶		4,305	-42.3%	4,280	-0.6%
電子部品		3,202	+11.4%	3,716	+16.1%
ユニット・アセンブリ		4,681	-3.6%	6,996	+49.5%
その他		1,524	+4.7%	3,267	+114.4%
合計		21,513	-9.7%	27,008	+25.5%

半導体 ■ 自動車向けが好調を維持

液晶 ■ アミューズメント向けは伸び悩むが、カーナビ向けは好調に推移

電子部品 ■ 自動車向けが好調を維持

ユニット・ ■ 工作機器向け、自動車向けEMSは好調

アセンブリ ■ オプトデバイス生産は在庫調整の影響を受けたが、堅調に推移

その他 ■ ハイブリッドカー生産本格化により駆動・発電モーターの販売拡大

■ 電子部品実装ラインの販売好調

12



## 第29期決算 4. 業種別売上高(連結)



単位:百万円

	2004年5月期		2005年5月期	
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
自動車関連	7,591	+26.0%	11,471	+51.1%
アミューズ関連	6,391	-44.2%	6,430	+ 0.6%
その他	7,530	+18.7%	9,106	+20.9%
合計	21,513	- 9.7%	27,008	+25.5%

- 自動車 ■ ハイブリッドカー生産本格化により駆動・発電モーターの販売拡大  
 ■ カーナビ向け液晶、自動車向けEMSは好調に推移  
 ■ 半導体、電子部品は堅調に推移
- アミューズメント ■ アミューズメント向けビジネスは、新規格機が立ち上がるも受注回復に至らず、前期並みで推移
- その他 ■ オプトデバイス生産は在庫調整の影響を受けたが、堅調に推移  
 ■ 工作機械向けEMSが好調に推移

13



## 第29期決算 5. 主要顧客別売上高(連結)



単位:百万円

	2004年5月期		2005年5月期	
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
アイシン精機(株)グループ	4,701	+30.6%	8,894	+89.2%
(株)大一商会グループ	4,289	-51.7%	4,791	+11.7%
シャープ(株)	3,009	+21.8%	3,396	+12.9%
その他得意先	9,512	+ 7.3%	9,926	+ 4.4%
合計	21,513	- 9.7%	27,008	+25.5%

- アイシン精機(株)グループ ■ ハイブリッドカー生産本格化により駆動・発電モーターの販売拡大  
 ■ カーナビ向け液晶、自動車向けEMSは好調に推移  
 ■ カーナビ用HDDの納入開始
- (株)大一商会グループ ■ 新規格対応機向け部材の納入開始  
 ■ 電飾モジュールの新規採用、納入開始
- シャープ(株) ■ オプトデバイス生産は在庫調整の影響を受けたが、通期では堅調

14



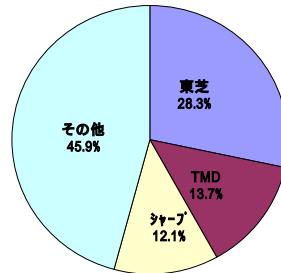
## 第29期決算 6. 仕入実績・商品別・仕入先別(連結)



単位:百万円

商品別	2004年5月期		2005年5月期	
	仕入高	前年同期比	仕入高	前年同期比
半導体	6,668	- 3.2%	7,932	+ 18.9%
液晶	4,802	-26.0%	3,210	- 33.1%
電子部品	2,223	- 7.6%	3,376	+ 51.8%
ユニット・アセンブリ	1,315	- 8.2%	5,728	+335.4%
その他	3,878	+35.1%	3,171	- 18.2%
合計	18,889	- 6.0%	23,419	+ 24.0%

仕入先	2005年5月期	
	金額	構成比
東芝	6,636	28.3%
東芝松下ディスプレイテクノロジー(TMD)	3,218	13.7%
シャープ	2,837	12.1%
その他	10,726	45.9%



15



## 3. 2006年5月期(第30期)見通し

1. 業績見通し(連結)
2. 部門別売上高見通し(連結)
3. 業種別売上高見通し(連結)

16





## 第30期決算 1. 業績見通し(連結)



単位:百万円

	2005年5月期	2006年5月期予想	前期比
<b>売上高</b>	<b>27,008</b>	<b>27,800</b>	<b>+ 2.9%</b>
<b>売上総利益</b>	<b>2,606</b>	<b>2,765</b>	<b>+ 6.1%</b>
売上総利益率	9.6%	9.9%	+0.3ポイント
<b>営業利益</b>	<b>843</b>	<b>860</b>	<b>+ 2.0%</b>
営業利益率	3.1%	3.1%	0.0ポイント
<b>経常利益</b>	<b>946</b>	<b>950</b>	<b>+ 0.4%</b>
経常利益率	3.5%	3.4%	-0.1ポイント
<b>当期純利益</b>	<b>549</b>	<b>570</b>	<b>+ 3.8%</b>
当期純利益率	2.0%	2.1%	+0.1ポイント

売上高：自動車向けビジネスが引き続き堅調、アミューズメント向けビジネスは横ばい

売上総利益：仕入コストの低減および自社製品、海外製品の増加により売上総利益率は改善

営業利益：自社製品事業など将来に向けた人員増など販管費の増加も売上総利益率の向上でカバー

17



## 第30期決算 2. 部門別売上高見通し(連結)



単位:百万円

	2005年5月期		2006年5月期予想		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
デバイス部門	18,696	69.2%	19,293	69.4%	+3.2%
ソリューション部門	2,985	11.1%	2,899	10.4%	-2.9%
海外部門	4,120	15.3%	4,398	15.8%	+6.7%
その他	1,206	4.5%	1,209	4.4%	+0.3%
合計	27,008	100.0%	27,800	100.0%	+2.9%

デバイス部門 ■ 自動車向けは堅調に推移  
■ 液晶の受注減等、アミューズメント向けは引き続き厳しい状況

ソリューション部門 ■ 工作機器向け、自動車向けEMSが前期並みに推移

海外部門 ■ M.A.Technologyのオプトデバイスの生産は秋以降増加を見込む

その他部門 ■ 企業の設備投資動向は堅調

18



## 第30期決算 3. 業種別売上高見通し(連結)



単位:百万円

	2005年5月期		2006年5月期予想		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比
自動車	11,471	42.5%	11,478	41.3%	+ 0.1%
アミューズメント	6,430	23.8%	6,032	21.7%	- 6.2%
その他	9,106	33.7%	10,290	37.0%	+13.0%
合計	27,008	100.0%	27,800	100.0%	+ 2.9%

- 自動車 ■ ハイブリッドカー用駆動・発電モーターおよびカーナビ向け液晶は堅調に推移  
■ 自動車向けEMSは前期並みで推移  
■ HDDの販売拡大
- アミューズメント ■ 液晶の受注減等、引き続き厳しい状況が続く
- その他 ■ M.A.Technologyのオプトデバイスの生産は秋以降増加を見込む  
■ 工作機械向けEMSが堅調

19



## 4. 今後の方向性

- 1) アプリケーション別  
自動車ビジネス  
ソリューションビジネス  
アミューズメントビジネス
- 2) 海外戦略
- 3) 効率化の追求

20



## 今後の方向性



- 創業以来最高の業績
- 東証一部、名証一部への指定



今期は売上高・利益を追求するだけでなく、3年後、5年後につながる新しいビジネスを模索する

- 自社ブランド製品の拡大
- 業容拡大を目指して(M & A、業務提携)

21



## アプリケーション別



アプリケーション	今後の見通し	コメント
自動車		カーナビの発達(ITSへの対応) <ul style="list-style-type: none"> <li>•HDDの搭載率増加</li> <li>•センサー、カメラなどの搭載増加</li> </ul> ハイブリッド自動車の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>•パワーエレクトロニクス製品の搭載</li> </ul> カーエレクトロニクスは大きく拡大
ソリューション		オプトデバイス(海外部門) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新製品の生産開始および国内からの生産移管による生産拡大</li> <li>• オプトデバイス需要は2005年後半に回復を見込む</li> </ul> ボードアセンブリ(ソリューション部門) <ul style="list-style-type: none"> <li>• カーエレクトロニクス分野のEMS拡大</li> <li>• 自社製品事業など技術部門を拡充</li> </ul>
アミューズメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 遊技機、ホール機器の電子化は拡大</li> <li>• 新たな商材の企画提案を強化</li> <li>• アミューズメントビジネスは、ユーザーの人気に左右される懸念がある</li> </ul>

中長期の成長性

22



# 自動車ビジネス(1) カーエレクトロニクスの進展



**カーナビゲーション**

- 液晶
- ハードディスク
- 画像処理IC
- 半導体・電子部品

**カーアクセサリ**

- GPSモジュール
- 半導体・電子部品

**バックモニター  
駐車アシスト**

- センサー、カメラ
- 半導体・電子部品

**イモビライザー、電子キー**

**電子制御**  
(エンジン、ブレーキ、AT、ボディー系)

- センサー
- 半導体・電子部品

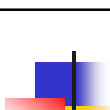
**ハイブリッドカー・ドライブシステム**

- 駆動・発電用モーター
- パワーデバイス、インバーター
- 半導体・電子部品

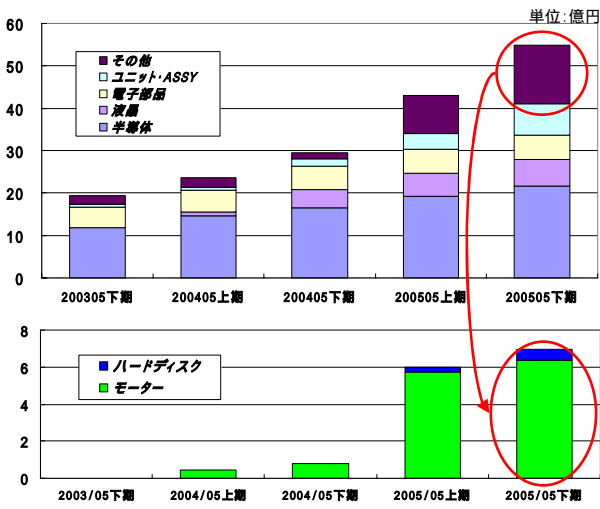
**ランプ(リアコンビーネーション、方向指示、ストップ)**

- 超高輝度LED

**ITS (ASV(先進安全自動車)、AHS(走行支援道路システム))**  
 ブラインドコーナーモニター、障害物警報システム、車間距離制御型定速走行システム、居眠り運転警報システム...



# 自動車ビジネス(2) 自動車部品メーカー主要4社への販売推移



## 増加要因

- 自動車向けEMSの強化
- ヨーロッパ向けカーナビ市場の拡大
- ハイブリッドモーターの販売本格化
- 6速化などATの機能拡大
- ASV(先進安全自動車)市場の拡大

## 成長性のある新規商品



**売上拡大**

主要4社: アイシン精機(株)、アイシン・エィ・ダブリュ(株)、(株)東海理化、豊田合成(株)



## 自動車ビジネス(3)



### 自動車向けビジネスの現状

得意先製品	主要販売品目	主要仕入先
カーナビゲーション	半導体、液晶、電子部品	東芝、東芝松下ディスプレイテクノロジー、ローム、村田製作所
ハイブリッドカー	駆動・発電モーター、半導体、電子部品	東芝
AT、ブレーキなどの電子制御	半導体、電子部品	東芝、ローム、村田製作所、日本電波工業
カーアクセサリ	GPS、半導体、電子部品	古野電気、東芝、ローム

### 自動車用半導体の世界市場

単位:百万ドル

製品分類	2004年	2007年	年平均成長率 (03~07年)
走行系	5,562	8,880	16.1%
ボディー系	5,951	7,337	7.7%
情報系	3,382	3,735	3.1%
<b>自動車(主要3品目)計</b>	<b>15,366</b>	<b>20,915</b>	<b>10.6%</b>
電子機器計	190,606	235,331	9.0%

出典: 日刊工業新聞(2004年5月20日発行)

25



## 自動車ビジネス(4)



### 重点分野

製品分野	現状	将来	エレクトロニクス
ITS分野	カーナビ (地図情報の表示)	映像、音楽、ゲームなど 様々なコンテンツへの対応 インターネットへの対応 運転支援 自動運転へ	液晶の高精細化 カメラ、センサーの搭載 拡大 HDD等、記憶媒体の搭載 拡大
ハイブリッド分野	フォードが2004年 9月にSUVを発売	環境への消費者ニーズ、原油 価格高騰による需要拡大	小信号デバイス中心から パワーエレクトロニクスへ

### 重点拡販製品

得意先製品	主要販売品目	コメント
ITS分野	液晶ディスプレイ	カーナビゲーションに採用、順調に拡大
	画像処理CPU	新規受注を目指す
	ハードディスク	2004年6月から納入開始、今期から拡大を見込む
ハイブリッド分野	駆動・発電モーター	2004年春から納入を開始、本格化、さらなる拡大を期待
	パワーデバイス	IGBT、電気二重層キャパシタに注力

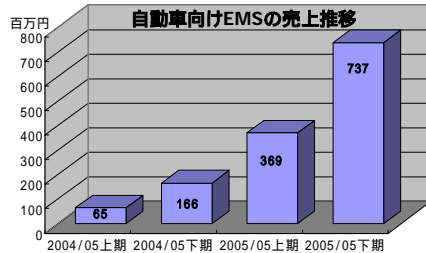
26



## ソリューションビジネス(1)



- 生産拠点M.A.Technologyの強化
  - 生産品目の増加
    - 新製品の生産拡大、国内生産から海外生産への移管加速
  - 積極的な投資の継続
- 国内EMSの強化
  - 自動車向けEMSの受注
    - カーナビ基板組付分野へ
  - 工作機械分野の拡大
- 技術・品質部門の充実
  - ソリューションビジネス強化を目指し、ハード、ソフト技術者を積極的確保
  - 品質向上
    - コスト、生産能力 + 品質の強化 = 競争力確保 **受注拡大**



27



## ソリューションビジネス(2) 生産拠点 M.A.Technology, Inc.



### M.A.Technology, Inc. (フィリピン) 第2工場



工場床面積: 約6,300 m<sup>2</sup>

従業員: 850名

主要顧客

- ・シャープ(オプトデバイスと化合物半導体)
- ・エプソンフィリピン(プリンタ用部品)
- ・東海理化フィリピン(カーエレクトロニクス)



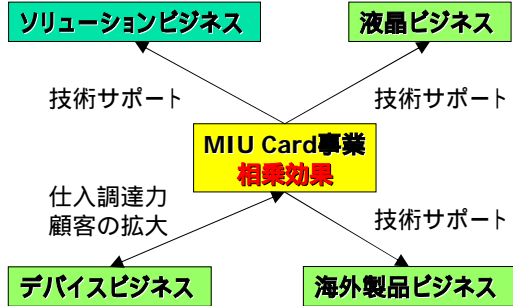
28



## ソリューションビジネス(3) 自社製品ビジネス



- 組込用超小型ボードコンピュータ
- FA、産業機器市場が主たるマーケット
- ハードからソフトまで対応できる技術力



29



## ソリューションビジネス(4) 組込市場への本格参入



ESECへの出展(2005年6月29日~7月1日)



30



## アミューズメントビジネス(1)



**パチンコは新時代へ！ 規則改正により台のコンセプトが激変。**



- **風俗法施行規則等の改正**  
パチンコ台規格の見直し バリエーションの拡大
- **液晶の大型化、高精細化**  
全面液晶機等液晶の大型化が急速に進展
- **娯楽性の追求**  
LEDの多色化、高輝度化、電飾モジュール化  
ヤクモノ(飾り)の可動による娯楽性の向上



31



## アミューズメントビジネス(2) 新たな商品ラインナップの強化



### アミューズメント向け主要販売商品の状況

重点拡販品目	中長期見通し	今後の展開・状況
パチンコ業界向けメモリー	新規開発	パチンコは高画質、実写の多用などメモリーは増大の一途
電飾		LED単体 LEDモジュール 電飾モジュールに注力
セキュリティー部品 (半導体、電子部品等)		法規制により不正防止への取り組みが強化 新たな電子デバイスの採用が期待
ディスプレイ		液晶サイズは大型化、商品ラインナップの強化が必要 また、有機ELなど、次世代ディスプレイへ注力

### 今後の課題と対応

- **企画力の強化** : 需給対応から企画・提案力へ、顧客ニーズは急変
- **コスト対応力** : 中国、台湾などのコストパフォーマンスに優れた電子デバイスの提案、調達(台湾美達旗、美達奇(香港)の活用)の強化
- **アセンブリへの対応**: M.A.Technologyの生産能力活用

32





## 海外戦略



- **顧客の海外進出**  
アジア地区にとどまらず、積極的に対応
- **M.A.Technologyへの投資継続**
- **海外製品ラインナップの拡充**  
モジュール製品の技術サポート体制の強化

### 自動車の海外生産に積極対応

- ・ 05年8月中国子会社設立予定
- ・ 欧州地域についても検討

33



## 一人当たり営業利益 効率化の追求



- **業務改革**
  - 業務改革を推進中  
業務フローの見直し、改革 & 改善  
  
基幹システムの再構築(今期順次稼働予定)
  - 購買業務の一元化  
購買業務の合理化  
仕入価格の低減 & 在庫の低減を目指す
- さらなる効率化を求めて業務改革を継続します
- **ワンストップ営業**
  - 顧客の利便性の追求
  - 顧客別営業体制の維持、強化

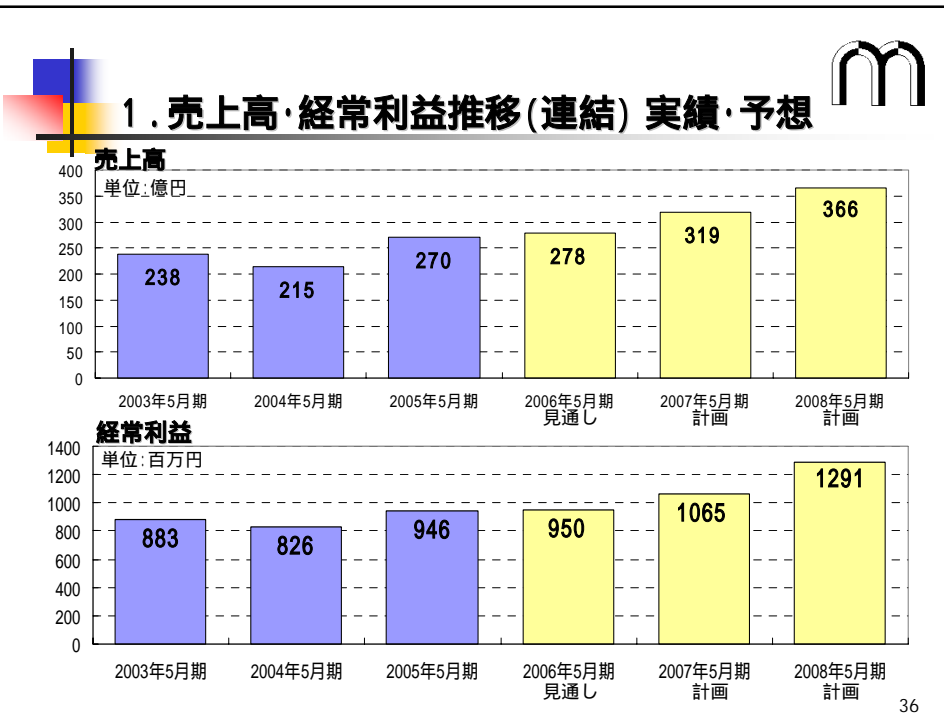
34



## 6. 業績推移(実績・計画)

1. 売上高・経常利益推移(連結) 実績 + 3期予想
2. 中期の業績目標 業種別売上高見通し(連結)

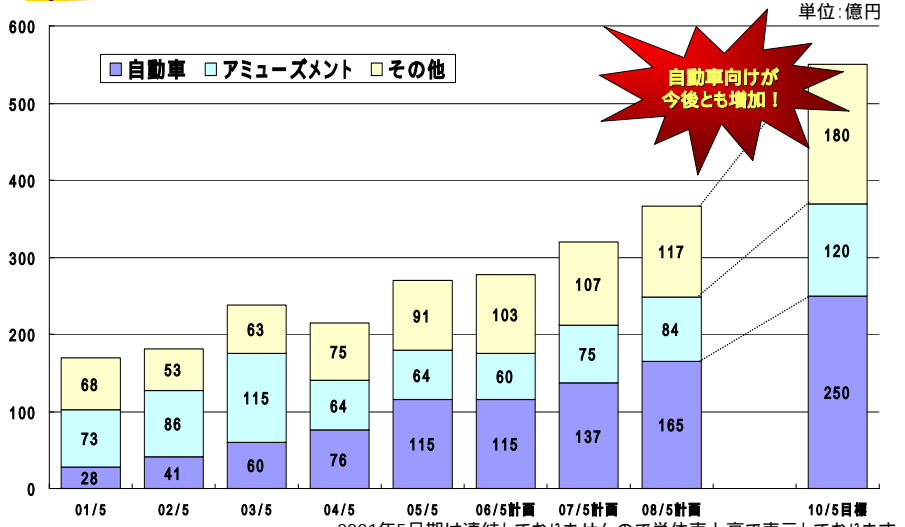
35



36



## 2. 中期の業績目標 業種別連結売上高の推移



**自動車向けが  
今後とも増加!**

2001年5月期は連結しておりませんので単体売上高で表示しております。